

面 接 調 査 書

受験番号

※

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ		志望する 専攻・ プログラム	専 攻 プログラム
氏 名			
生年月日	年 月 日生	出身大学 卒業年月 (該当する区 分の□に✓を 付すこと)	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ 外国の大学 ☐ その他
年 齢	2026.4.1 現在 (満 歳)		大学 学部 年 月 卒業 (見込)
修士課程を構成する 専攻・プログラム		入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず1つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究の概要」又は本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」（学生募集要項4頁にURL記載）を参照のこと。	
次世代日本型教育システム研究開発専攻		☐ 地域研究 ☐ 比較教育・教育史 ☐ 日本語教育 ☐ 次世代教育	
教育支援 協働実践 開発専攻	教育A I 研究 プログラム	☐ 情報A I ☐ コンピテンシー・学校心理 ☐ 教科内容・実践（文化） ☐ 教科内容・実践（身体） ☐ 教科内容・実践（環境）	
	臨床心理学 プログラム	☐ 臨床心理学	
	教育協働研究 プログラム	☐ 生涯学習 ☐ 文化遺産教育 ☐ ソーシャルワーク ☐ 生涯スポーツ ☐ 多文化共生教育 ☐ 表現教育 ☐ アート ☐ デザイン ☐ 教育行政	
希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）			
(主)		(副)	
入学志願 理 由			

【記入上の注意】

- 全て自署により記入することを原則とする。
- 「希望する指導教員」欄（希望がある場合のみ記入）以外の全ての欄を必ず記入すること。「大学在学中及びその後に行った研究」欄に限り、記載できる内容がない場合には「特になし」と記載すること。
- 「希望する指導教員」欄について
 - 指導教員の希望は、主・副とも、希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって、当該教員の事前の了解は必要ありません。
 - 入学後の指導教員は、ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また、この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は、可否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員1名が主指導教員として、入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合、入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず、他専攻（教職大学院を含む）担当教員1名に指導を依頼することができます。また、自専攻・プログラムの担当教員で、主指導教員になれない教員からの指導を希望する場合、副指導教員として指導を受けることになります。

【記入上の注意（臨床心理学プログラムのみ）】

- 臨床心理学プログラムについては、他専攻・プログラム担当教員を副指導教員とすることを認めていませんので、希望する指導教員の欄には臨床心理学プログラム担当教員のみ記入してください。（複数の名前を記入してもよい。）

大学在学中 及びその後 に行った研究 ※文書による 説明では不 足する研究 成果等があ る場合は、 ポートフォ リオにまと めて提出す ることも可	
入学後研究 したい事項	研究テーマ
	研究内容